

道東から出発の

新ボランティア 紹介

平成27年度
2次隊

- ① 現地での活動内容
 - ② 活動の抱負・目標
- 2年間でやりたいこと

青年海外協力隊

稲葉 哲史さん

出身:北見市
派遣国:パラグアイ
職種:小学校教員



パラグアイで沢山の
Amigo(友達)を作る!



- ① 小学校教員(算数)として現地でサポートする。
- ② 分かりやすい算数教材を提案する。

青年海外協力隊

金清 百広さん

出身:音更町
派遣国:ケニア
職種:林業・森林保全



現地の暮らしに
溶け込みたい。



- ① 造林技術改善と地域住民への林業普及を行う。
- ② 広く林業技術を普及させたい。

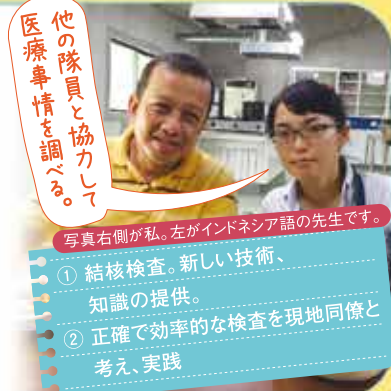
青年海外協力隊

上田 真弓さん

出身:北見市
派遣国:東ティモール
職種:臨床検査技師



他の隊員と協力して
医療事情を調べる。



- 写真右側が私。左がインドネシア語の先生です。
- ① 結核検査。新しい技術、知識の提供。
 - ② 正確で効率的な検査を現地同僚と考え、実践

シニア海外ボランティア

佐藤 公彦さん

出身:北見市
派遣国:トンガ
職種:電気・電子設備



訓練生と共に
ソーラーカーを制作して、
出場したい。



- ① トンガ科学技術専門学校にて訓練生の指導を行う。
- ② 訓練生に電気技術を解りやすく教えて、実践的な教育をしたい。

草の根 技術協力 事業

北見市／「モンゴルにおける地域保健活動のための 人材育成事業」活動レポート

モンゴルの首都ウランバートル市では、急激な人口増加に伴い、市中心部と郊外ゲル地区間の貧困格差と保健医療サービス格差が問題になっています。また、食生活や喫煙、飲酒に対する住民の意識も低く、高血圧や糖尿病などの生活習慣病の罹患率が増えています。このような課題を受けて、北見市(北見国際技術協力推進会議)では、2013年より、草の根技術協力事業「ウランバートル市ゲル地区住民に対する地域保健活動のための看護職人材育成事業」を展開中です。ウランバートル市バインゴル区のゲル地区を対象地域として、日本の「保健師」に相当する仕事への理解を促進し、人材を育成することで、生活習慣病の予防管理や健康指導などの地域保健活動を推進するとともに、予防医療の重要性について、住民の意識向上を図ることを目指しています。これまでの活動では、現地の「家族保健センター」の看護師を北見市に招いて、研修を行うとともに、日本赤十字北海道看護大学の専門家や北見市の保健師を現地に派遣し、技術指導を行ってきました。今年も8月23日から9月4日にかけて専門家を派遣し、「家族保健センター」の職員や

地域住民に対して、北見市の保健師が「血圧セミナー」を開催しました。現地では、北見市で研修を受けた看護師が中心となって、他の看護師に対する研修会や地域住民に対する健康教室が開催されるようになったり、北見市の保健師と協力して作成された「健康手帳」が活用されるようになったり、さまざまな成果が見られます。また、この活動を見た住民が自らボランティアに名乗りを上げ、家族保健センターの活動に協力するようになっています。今後これらの活動が定着し、地域住民の健康づくりに貢献することが期待されます。



北見市保健センターで「成人健康相談」を見学する研修員



モンゴルで北見市の保健師が現地住民を対象に血圧セミナーを実施

JICA北海道(帯広)
図書資料室
からのご案内『ぼくは13歳 職業、兵士。』
—あなたが戦争のある村で生まれて著者 鬼丸昌也、小川真吾
発行 合同出版株式会社

世界には5歳で強制的に小型武器を持たされ、兵士にされた子どもたちがいるのをご存知ですか。人を殺す練習をさせられたり、麻薬、アルコールで恐怖心を麻痺させ、地雷探知機として危険な地雷原を歩かされたり、軍隊から厳しい処罰や任務を強いられ、困難で恐ろしい子ども兵の問題が書かれています。今でも心の傷や後遺症で苦しむ子どもたちから、平和の中にある私たちにに向けた大切なメッセージが込められた一冊です。是非ご一読ください。

<URL><http://www.jica.go.jp/obihiro/library/index.html>

■開室時間:火曜日から日曜日 午後1時～午後6時30分

■閉室時間:月曜日・祝日・年末年始 ■お問合せ:TEL/FAX 0155-41-4100

JICALレストラン

営業時間: 昼 11:30～14:00
夜 17:30～20:30
(ラストオーダー30分前)・年中無休

★10～12月の期間限定メニュー★



パッタイ

米粉の麺を使ったタイ風焼きそば。キャベツやにんじん、たまねぎ等たっぷりの野菜と炒めてナンプラーやライムで味付けします。タイ料理の中でも屈指の人気メニューをJICALレストランでぜひ味わってください。

ネパール・ワンプレートランチ第二弾



7月から行ってきた企画、「ネパール復興支援メニュー」の募金は、皆さまの温かいご支援により24,850円集まりました(9/15現在)。企画メニューの第二弾はマトンのトマトカレーと、ほうれん草とチーズのカレーセットを700円で提供。そのうち50円が募金される仕組みになっています。これらの募金は公益社団法人日本ネパール協会を通して、ネパールの被災地支援に充てられます。

JICA 海外ボランティア 秋募集

募集期間 平成27年10月1日(木)～11月2日(月)

体験談&説明会

内容

●概要説明 ●OB・OG体験談 ●個別応募相談

帯広 JICA北海道(帯広)

10月17日(土) 10:00～12:00

釧路 生涯学習プラザまなぼと

10月17日(土) 16:00～18:00

北見 オホーツク木のプラザ

10月18日(日) 14:00～16:00

青年海外協力隊50周年記念パネル展

■巨大じゃがいもアート展

期間:10月1日(木)～31日(土)

場所:巨大じゃがいもアート館 十勝芽室町東3条1丁目6番地

■帯広市役所

期間:10月13日(火)～19日(月)

場所:帯広市西5条南7丁目1番地 市民ホール 1階

新スタッフ紹介

守屋 勉さん



本年6月から帯広センター・総務班で仕事をしております守屋と申します。4月末までは大分県にあるバスマツという島嶼国で仕事をしておりました。メラネシア文化・風習が色濃く残った面白い地域でしたが、最後の仕事場となる帯広もエゾリスが駆け回る自然豊かな地方都市であり、花火大会、平原祭り(盆踊り大会)と帯広の夏の風物詩を満喫しております。冬は極寒であるとお聞きしておりますので、ささか怯えておりますが、人情味のある人々と生活をしてみたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

近藤 直さん



9月から研修事業を担当させていただきますことになりました近藤です。まだ着任1ヶ月足らずですが、空気がよく、人も優しく、食べ物も美味しい帯広の魅力に感激しております。これまでは、主にJICAボランティア事業支援を担当させていただき、在外ではセネガル、ブルキナファソ、チュニジアで勤務いたしました。研修事業を担当するのは初めてですが、北海道から途上国を支援するという壮大な事業に、大きな魅力とやりがいを感じております。妻、長男、次男の家族4人、帯広の生活を楽しくつつ、業務に励みたいと思います。よろしくお願い致します。

OBIC通信

秋といえばキノコです。この時期になると事務所の敷地内にはびっけりするほど見事なベニテングタケが姿を現します。白樺を好み、そこへ輪になって育成するのです。幼菌から老菌まで、変化に富んだ実に美しい姿を見せてくれます。忙しい毎日に追われ見逃してしまっているのかもしれない!みなさんも、ちょっと自然に目を向けて深まる秋を体感してみませんか?
(文・写真:石井優子)

What's New!

JICA北海道(帯広)発
道東インフォメーションお問合せ
TEL0155-35-1210

EVENT・SEMINAR

JICA北海道(帯広) 研修コース発表会一般公開のお知らせ

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広く理解していただくため、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

◆平成27年度 秋のスケジュール ◆(定員5名・先着順) ■お申込・お問合せ JICA北海道(帯広) TEL 0155-35-1210 担当:工藤成美

日程	研修コース名	内容	場所	締切り
10/13(火)	小学校理科教育の質的向上「[教えと学び]の現場教育」	参加国紹介	帯広市児童会館	10/9
11/19(木)・20(金)	地域住民の参加による多様な森林保全	研修成果/帰国後活動計画	JICA北海道(帯広)	11/16
12/11(金)	小学校理科教育の質的向上「[教えと学び]の現場教育」	研修成果/帰国後活動計画	帯広市児童会館	12/9

※お申込は締切日までにお願ひします。(定員5名・先着順) ※研修発表会は変更になることがあります。開催日が近くなりましたらホームページでご案内をいたします。

草の根技術協力事業

「草の根協力支援型」は、国内での活動実績はあるものの、開発途上国への支援実績が少ない NGO等非営利団体、大学、公益法人(任意団体含む)が実施したいと考えられている国際協力活動を、JICAが支援するものです。2015年度募集よりJICA国内機関での応募前コンサルテーションを必須とさせていただきますので、応募をご検討の場合には、必ず地域JICA窓口にご相談ください。

■草の根協力支援型 応募締切:2015年11月2日(月)17:00必着

■お問合せ JICA北海道(帯広)TEL:0155-35-1210 担当:宮田

平成27年度 国際理解教育指導者研修

平成26年度教師海外研修(バングラディシュ)参加者による授業案の発表(模擬授業形式)を通して、国際理解教育の実践にかかる手法や課題等の共有を行い、自己実践するための素材の収集とネットワークづくりを行います。

■実施日:平成27年11月21日(土)10:00～15:30

■場所:JICA北海道(帯広)オリエンテーションルーム

中小企業海外展開支援

JICAは中小企業の優れた製品や技術を途上国の開発に活用することで、途上国の課題解決と日本の国内経済の活性化を目指しています。中小企業の海外展開の準備段階に応じ、多数の支援メニューを取り揃えています。

□民間提案型普及・実証事業<中小企業からの提案に基づき、製品・技術に関する途上国の開発への現地適合性を高めるための実証活動を通じ、その普及方法を検討する事業です>●公示中

□案件化調査<中小企業からの提案に基づき、製品・技術を途上国の開発へ活用する可能性を検討するための調査です>●公示中

□基礎調査<中小企業が途上国へ進出するための情報収集や事業計画の立案をするための調査です>●公示中

■詳細はJICAホームページをご覧ください。 URL: http://www.jica.go.jp/sme_support/index.html

高校生国際協力セミナー参加校(参加者)募集

帯広畜産大学国際協力ユニットの学生が講師となり、高校生と一緒に一泊二日学びます。ワークショップや開発途上国からきた研修員との交流、グループ発表など、年齢が近いからこそかち合える深い学びが体験できます。

■実施日:平成28年1月9日(土)、10日(日)

■場所:JICA北海道(帯広)

■定員25名(高校生5校まで)

■対象:道東地域の高校生

※生徒4名引率1名でお申込みください。